

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	令和元年10月3日（木） 午後7時30分～午後9時00分
会場	米沢公民館
地域座談会の内容（市長講話・質疑応答の内容等）	
<p>①小学校の児童数が少なくなっており、学区の統合や学区の見直しなども必要となると思うが、地域のつながりもなくなってしまう可能性がある、今後の方向性をどのように考えているか。</p> <p>→少子化の中で、小中学校の枠組みをどう作っていくか、学校としてだけでなく地域全体の活動の拠点でもあり、統合は地域の大きな問題となってくる。6年後までは想定できるが、その後の配置規模について、今年から2・3年かけて、教育委員会において検討の取組みを始めています。この中で、学区制のあり方を検討していくことを始めており、地域の方の納得を得ないままに進めることはできないので、時間をかけて検討したいと考えている。</p> <p>②保育所等の待機児童はどのような状況か。</p> <p>→保育所の場合、入園先の希望に沿えないケースもあるが、本市では待機児童は発生していません。</p> <p>③これから団塊の世代が75歳の後期高齢者となる。病院にかからない健康な体づくり、寝たきりにならないための運動教室などの取組みに力を入れ支援していくことが財政的にもいいのではないか。</p> <p>→団塊の世代が75歳となる2025年問題など、高齢者の増加が課題となっています。介護施設なども7、8年は増となるがそれを過ぎると高齢者人口は減となる。介護施設は今後、新たな施設を増やすのではなく、年齢寿命と健康寿命との差を縮めるための支援を行っていく。ふれあいサロン、100歳体操などや高齢者ポイント制度（ボランティア）の普及とともに経費削減のための取組を支援していきたい。</p> <p>④287号線沿い平野山の畜産事業者の臭いが、夕方5時過ぎなど臭いがひどい時が時々ある。その企業が協定書どおりの内容で作業を行っているのかなどの確認も含め、その後どうなっているか教えてほしい。</p>	

現在、町会とも臭いのする日や時間帯をチェックしており、後日提出したいとも考えている。

→いただいた内容を担当課に確認し、回答するよう進めたいと思います。また、現在記録してもらっているチェック表についても、送付していただければと思います。

(担当課回答)

平成30年8月に指導機関である山形県の立入調査を実施し、施設管理や作業状況の確認を行ったところ、県からは法令等に基づき適正な状況で管理・作業が行われているとの報告がありました。なお、夜間に行われていた堆肥の攪拌作業について、臭い拡散防止の観点から、上昇気流等で臭いの成分が拡散するよう気温の高い日中に実施するよう指導がなされたところでした。また、その後に地元町会から、臭いについて御意見をいただいた際には、前述の指導を踏まえ、臭いのあった日時や状況について書き留めていただくようお願いするとともに、その結果を基に事業者に対し、作業時間等の変更をお願いしたところでした。

今回、いただいた御意見を踏まえ、直ちに指導機関である山形県に状況を通報したところ、10月中に立入調査が実施されることとなりました。立入調査により再度法令等の違反がないかを確認するとともに、臭い拡散の防止に向けた対策について指導いただくこととしております。その結果については町会にご報告いたします。

(立ち入り調査後の報告)

10月29日午後より、山形県による立入調査を実施しました。立入調査は、市農林課職員2名の同行のもと、県の畜産担当職員2名により実施しております。

立入調査の結果は、「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」の違反は確認されませんでした。

また、畜産事業者からの聞き取りでは、昨年に行われた立入調査時の指導に基づき、堆肥の攪拌作業を、それまで夜間と早朝に行われていた作業を、気温の上昇した午前中及び午後の計2回の作業に変更し、実施しているとのことでありました。さらに、堆肥の発酵時に発生する臭いを低減する菌を堆肥に混ぜるといった対策も実施しているとのことでありました。

県の担当者からは、通常、日中に発生する上昇気流で拡散される臭いが、天候や風向き、風の強弱等一定の条件で住宅地まで届いている可能性があるとの説明があり、どのような条件下で住民の方が臭いを感じるかが判明しないと、対策は難しいとの指摘がありました。そのため、これまで町会でモニタリングされた内容により、臭いがどのような条件で届くのか分析

したいと考えております。

なお、畜産事業者からも現在、定時（午前10時頃と午後13時頃）に実施している攪拌作業を天候にあわせて変更することについては了解を得ており、改善状況を確認するため、町会の皆様には、大変お手数となりますが、今後も必要に応じてモニタリングをお願いさせていただきたいと思っております。

⑤米沢第一踏切の件ですが、JRの対応が進んでいないが、市としての対応はどのような状況か。

→要望を踏まえ毎回、JR山形支店を通じ仙台支社にお願いしている。高松駅構内に入線する時点で感知して、踏切の警報機が鳴る仕組みで、安全面や基準となる規定（ルール）の面で、対応できない部分があるようです。JRに対し引き続き対応をお願いしていきたい。

⑥チェリーランド、体育館、柴橋地区公民館、陵西中などから、テーブルを借用しているが、損耗が激しく一部破損しているものが多い。けがの原因となりがねず、地区公民館の備品の更新をしてほしい。

→地区公民館の備品の更新に向け、来年度以降予算化し、更新できるよう取り組んでいきたい。

⑦老人クラブのレクリエーション大会への参加が少なくなり、各地区の老人クラブが減少しているようだ。頑張っている老人クラブを評価し、助成強化を図るなど配慮してほしい。

→地域での活動はあるが市の連合会に加盟していないなど、加盟クラブ数が減ってきており、組織が弱体化し全体の行事が少なくなっている。支援についてメリハリをつけることも必要と思うが、組織に加入する部分での問題点や、地域でのまとまりを考えていくうえでも連合会の中でも話し合う必要もあると思います。行政だけでなく、地域が連携しアイデアを出していただき、それを行政が支援していくことが必要だと考えます。

⑧児童・生徒の減少で部活動やスポ少などの存続や運営も大変になってくる。地域でも教育後援会として支援しているが、市としても助成をお願いしたい。

→他校と合同で活動している種目もあるが、子どもたちが好きな道を選べるよう努力と工夫が必要と考えます。保護者の負担も大きくなってきていることから、送迎や保険など基本的なところを分担すること等明確にし、人

数が少ないところにしわ寄せが来ないように行政の支援について教育委員会とも考えていきたい。

⑨数年前に高松地区内の若手個人経営者、農業の担い手などからなる「交進会」が発足し、事業実施のほか、各種行事への協力、郷土芸能や小学校への寄付などの支援活動を地域で積極的に行っている。頼もしい若者たちの団体をぜひ紹介したい。

→地域での活動を積極的に行っている団体があることは素晴らしい。行政も担う役割もあると思います。芸能文化の保存や支援なども継続して、地域の伝統文化を守っていくことは大事なことであり、披露していただける場があればぜひ出席したいと思います。

⑩地域おこし推進員、集落支援員の具体的な内容について教えてほしい。

→地域おこし推進員は、現在3名で、TASSHO、スポーツ振興課、グランドワーク寒河江に所属し、市外からの観点でまちおこしの事業の企画や運営に取り組んでいただいております。3年間の期限でお願いしておりますが、その後継続して活躍している方もおります。

集落支援員は現在3名で、田代、醍醐、柴橋の3地区にそれぞれ1名を配置し、地域のことを地域の方が中心となって事業を企画運営し、頑張ってください。

⑪市連合婦人会の組織が無くなった時、地元でも無くすような話もあった。無くしてしまうのは簡単だが、隣組に負担がかかったりするため存続しているが、役員不足で苦勞している現状がある。

→地域によっては組織が無くなっているところもある。敬老会を交通安全母の会で行っているところもあるようだ。市でこれを行うことは現実的でない。女性の集まりは新しい形も出てきている場合もあり、地域のためという形ではなく、気楽な集まりでの要素が強くなっているようだ。一度無くなった組織を作るのは難しいので、これからも頑張っ活動をしてほしい。